



2020年3月23日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所1号機 廃止措置計画変更認可について

当社は、敦賀発電所1号機の廃止措置工事等に伴い発生した放射性廃棄物を圧縮減容する装置を新たに導入することなどから、2019年10月31日、原子力規制委員会に対して廃止措置計画変更認可申請を行いました。また、その後の審査を踏まえ、圧縮減容装置の処理能力や主要寸法等を追記し、2020年3月9日に廃止措置計画変更認可申請の補正を行いました。

(2020年3月9日お知らせ済み)

この申請について、2020年3月19日付で原子力規制委員会から認可をいただきましたのでお知らせします。引き続き、安全第一のもと、敦賀発電所1号機の廃止措置を進めてまいります。

添付資料：敦賀発電所1号機 廃止措置計画変更認可の概要

以上

敦賀発電所 1号機 廃止措置計画変更認可の概要

【概要】

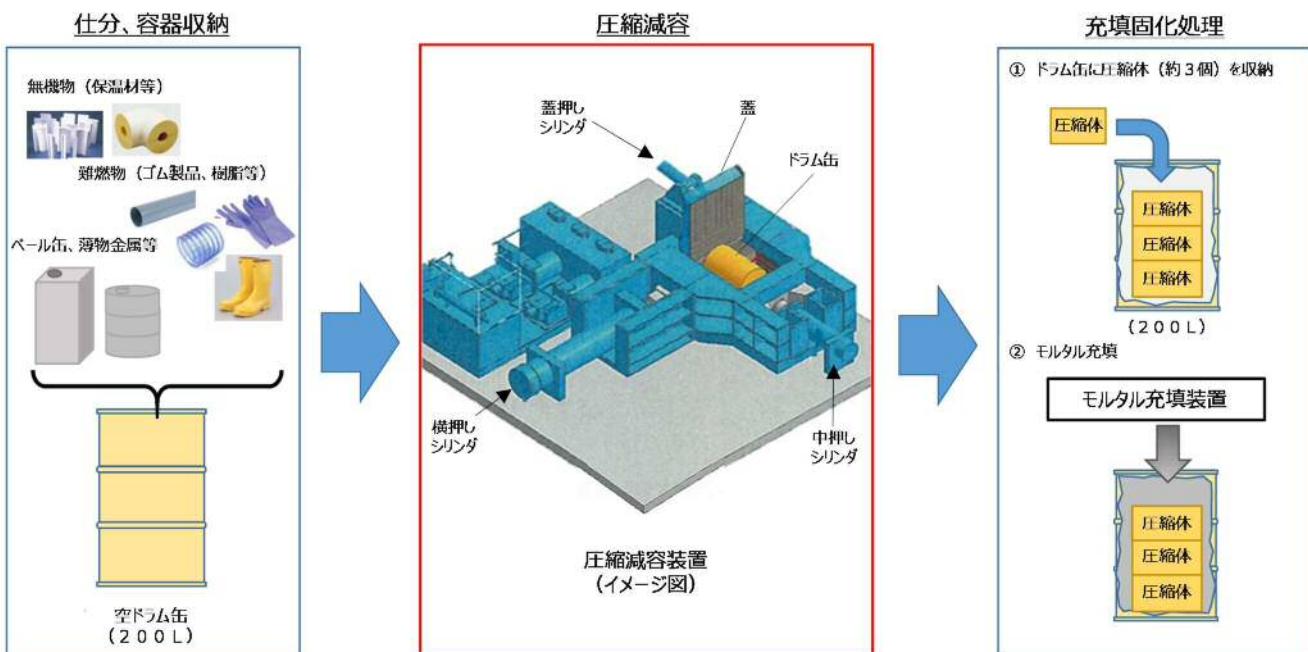
敦賀発電所 1号機の廃止措置工事等に伴い発生した放射性廃棄物を圧縮減容する装置を新たに導入することなどから、2019年10月31日、原子力規制委員会に対して廃止措置計画変更認可申請を行い（2020年3月9日補正申請）、2020年3月19日付で認可を受けた。

(主な変更内容)

- 敦賀発電所 1号機の廃止措置工事や運転中に発生した放射性廃棄物を圧縮減容する「圧縮減容装置」を新たに導入
- タービンローター等の大型の解体撤去物を保管する際は、こん包等により汚染の広がりを防止

<参考：圧縮減容装置について>

- 性能：放射性廃棄物を収納したドラム缶を3方向から圧縮し（圧縮力：約300トン）、約3分の1に減容（処理能力：約15本／時）
- 主要寸法（縦×横×高さ）：約3,550mm×約1,900mm×約945mm
- 設置場所：タービン建屋1階



以上